

平成 28 年度 第 3 回 水工学委員会幹事会 議事録 (案)

日 時：平成 28 年 11 月 9 日 (水) 12:00～13:00

場 所：土木学会 2 階 AB 会議室 (東京都新宿区四谷 1 丁目 外濠公園内)

水工学委員会幹事会 12:00～12:40

出席者：中北 英一 (委員長)、戸田 祐嗣、石塚 正秀、泉 典洋、今村 正裕、岩見 洋一、内田 龍彦、梅田 信、大槻 英樹、門田 章宏、川口 智哉、里深 好文、中川 啓、前野 詩朗、横嶋 哲、吉田 圭介、浅沼 順、石平 博、入江 政安、大石 哲、河村 明、神田 学、杉原 裕司、竹林 洋史、多田 毅、田中 規夫、知花 武佳、富永 晃宏、中津川 誠、原田 守博、宮本 仁志、矢島 啓、中山 恵介 (幹事長) (順不同、敬称略)

《報告事項》

1. 各部会、小委員会、関連委員会の活動報告・計画 (第 2 回水工学委員会幹事会以降の情報があれば) (資料 1)

- 部会：基礎水理部会、水文部会、河川部会、環境水理部会
- 常置小委員会：水害対策、流量観測高度化、地球環境水理学、ISO/TC113、グローバル気候変動適応研究
- 出版関連：水理公式集編集小委員会、論文編集委員会
- 関連委員会：河川懇談会、海岸、CommonMP、流域管理と地域計画の連携、環境システム、沿環連、地球環境、ISO

水文部会および基礎水理部会から活動報告があった。詳細は資料の通りである。

入江委員から資料にない報告として、平成 29 年度の夏季研修会の開催予定日が 8 月 31 日、9 月 1 日であることが報告された。

2. 組織図 (資料 2)

中山幹事長から土木学会論文集編集委員会の変更、およびグローバル気候変動適応研究推進小委員会の常設小委員会への変更が報告された。

3. レーダ雨量計技術開発 50 周年シンポジウムに関する報告 (資料 3)

大石委員から参加者数 292 名で大成功であったことが報告された。

中北委員長から土木学会から国土交通省に働きかけて開催されたシンポジウムであり、今後、同様な形態での活動が期待されていると考えられるとの報告がなされた。

4. その他

矢島委員 (環境水理部会副部長) から応用生態工学会 広島と土木学会 水工学委員会 環境水理部会の共催でダム貯水池の水環境に関するシンポジウム「ダム貯水池の水環境に関する現状と将来～」が開催されたことが報告された。

杉原委員から応用力学講演会 2016 が、流体をテーマに開催されることが報告された。なお、テーマは

「数値シミュレーションが拓く流体力学・水理学のフロンティア」である。

《協議事項》

1. 平成 29 年度水シンポジウムについて（沖縄県、河川部会が第 1 分科会担当）（資料協議 1）
中山幹事長から現執行部が新執行部初年度の「水シンポジウム in おきなわ」をサポートすることが提案され承認された。中北委員長および戸田編集幹事長から詳細な補足説明もいただいた。また、水工学委員会全体として沖縄での水問題に積極的に関わっていくことが提案され承認された。
2. 年次講演会の部門Ⅱにおけるセッション名について（資料協議 2）
セッション名の変更に関する審議が行われ、11 月末日までに継続して意見を求めることが承認された。
3. 年次講演会で共通・特別セッションについて（資料協議 3）
中山幹事長から平成 29 年度の土木学会全国大会の共通セッション、特別セッション募集の案内が紹介され、11 月末日までに継続して意見を求めることが承認された。
4. 年次講演会での研究討論会について（資料協議 4）
平成 29 年度の土木学会全国大会の研究討論会について数件の提案があることが紹介された。具体案についてはメール審議することが承認された。
5. その他
なし。

○第 2 回水工学論文集小委員会

日 時：平成 28 年 11 月 9 日（水）13:00～16:00

場 所：土木学会 2 階 AB 会議室（東京都新宿区四谷 1 丁目 外濠公園内）

議 題：

1. 査読結果の審議
査読結果の集計が行われた。リジェクトとする論文の返却通知書を作成した。
2. その他
なし。